

学校法人 東京聖徳学園

聖徳フラッシュ

聖徳フラッシュ
第60号
平成24年6月1日
発行
学校法人 東京聖徳学園
〒108-0073 東京都港区三田3-4-28
TEL.03-5476-8811(代)

聖徳学園ホームページ
<http://www.seitoku.jp/>

- 聖徳大学大学院
- 聖徳大学
- 聖徳大学短期大学部
- 聖徳大学幼児教育専門学校
- 聖徳大学附属女子高等学校
- 聖徳大学附属女子中学校
- 聖徳大学附属小学校
- 聖徳大学附属幼稚園
- 聖徳大学附属第二幼稚園
- 聖徳大学附属成田幼稚園
- 聖徳大学附属浦安幼稚園
- 聖徳大学附属聖徳女子高等学校
- 聖徳学園三田幼稚園
- 聖徳学園八王子中央幼稚園
- 聖徳学園多摩中央幼稚園



左より雨宮氏、川並理事長・学園長、川並名誉学園長

平成四年度よりスタートし、今年二十周年を迎えた聖徳大学の生涯学習講座「聖徳大学オープン・アカデミー(SOA)」は、四月二十一日(土)、聖徳大学川

前理事長・学園長の胸像除幕式

四月二十七日(金)、第七十九回学校法人東京聖徳学園創立記念日式典、川並昭昭記念図書館エントランスにて川並昭昭前理事長・学園長の胸像除幕式が挙行されました。式には、

川並知子名誉学園長、川並弘純理事長・学園長、胸像の制作者である彫刻家・雨宮敬子氏をはじめ、多くの関係者が参列しました。胸像は、前理事長自身が長年にわたり構想を温め、実現された図書館のエントランスで毎日学生たちを見守っています。「雨宮敬子氏略歴」昭和六十年日展内閣総理大臣賞受賞。日展顧問、日本彫刻会常務理事を歴任。



講演をする青島氏

「SOA開設二十周年記念 オープニングセレモニー」開催 1300人が音色に酔う

並香順記念講堂でオープニングセレモニーを開催、当日は千三百名を超える来場者がありました。記念セレモニーでは、塩見みづ枝・文部科学省前生涯学習政策局社会教育課長による基調講話等がありました。公開講演には、テレビでもおなじみの作曲家・青島広志氏を招き、今年度のSOA年間テーマ「ライフのち・くらし・人生」にちなみ、「音楽の喜びは生涯にわたって」と題し、「何歳からでも始められる合唱、年配の方が始めるならバイオリンよりもピアノがおすすめ」など、青島氏のユーモアあふれる話がありました。

音楽学部教員によるコンサートも

プログラム後半の聖徳大学音楽学部の教員によるミニコンサート(コーディネート/原佳之・演奏学科教授、解説/山本まり子・音楽総合学科教授)では、テノールの望月哲也講師とソプラノ島崎智子・演奏学科教授のソロとデュエット、そして、原教授と山田昌宏・演奏学科准教授によるピアノ二重奏でした。さらに、松居直美・演奏学科教授の迫力あるパイプオルガンの演奏もあり、会場を魅了しました。

・山中湖ガーデン・かすがの森 宿泊券プレゼント クイズ開催!

応募期間
6月1日(金)~25日(月)
詳細は → 8ページ

INDEX

学園	1・2
大学院・大学・短大	1・2・3・4
幼児教育専門学校	4
附属女子中・高	2・5
取手聖徳女子中・高	5
小学校	2・6
幼稚園	6・7
インフォメーション	4・8

より豊かな未来に向け ISO 認証を更新
聖徳学園は、平成15年11月に日本の教育機関では初めて品質管理システムのISO9001および環境管理システムのISO14001、両国際規格の認証を同時取得しました。その後も、品質管理でより良い教育を可能にするシステムと地球環境を守る管理システムを継続した結果、平成21年2月に認証を更新しました。国際機関の定めた規格を高いレベルで更新したことにより、聖徳学園は次の高みに向けて新たな活動を展開します。

ISO 9001
(教育の質マネジメントシステム)
ISO 14001
(環境マネジメントシステム)

ご意見/ご感想募集「聖徳フラッシュ」は皆さんの広報紙です。本紙に関するご意見、ご感想を下記サイトにて受け付けております。
<http://www.seitoku.jp/gakuen/toiawase/>
「その他のご意見・お問い合わせ」まで

去る三月二十五日(日)、千葉・幕張メッセで行われた「ちばこっぴきやっせ物産展2012」に参加させていただきました。この企画は、東日本大震災復興支援として行われたもので、



参加した人間栄養学部の学生たち(後列左が筆者)

「さんまのかば焼き」で簡単にできるアレンジ・レシピを考え、参加しました。物産展では、宮城ブーシの一員としてレシピの紹介と料理のサンプル展示、子ども向けの食育クイズを行いました。初めて参加させていたが、不安もありましたが、たくさんのお客様にお越しいただき、レシピの紹介や食育クイズを行うことで、私たち一人ひとりのよい学習の機会となり、一回り大きく成長できたのではないかと思います。また、私自身は被災者の

学生による報告

人間栄養学部オリジナルレシピを披露 — きやつせ物産展2012

聖徳大学人間栄養学部四年 志田 奈生子

宮城県・山田水産の「さんまのかば焼き」で簡単にできるアレンジ・レシピを考え、参加しました。

物産展では、宮城ブーシの一員としてレシピの紹介と料理のサンプル展示、子ども向けの食育クイズを行いました。初めて参加させていたが、不安もありましたが、たくさんのお客様にお越しいただき、レシピの紹介や食育クイズを行うことで、私たち一人ひとりのよい学習の機会となり、一回り大きく成長できたのではないかと思います。また、私自身は被災者の

作ってみよう!

さんまバーガー



- 〈材料〉(2人分)
- さんまの蒲焼き… 90g
 - ご飯… 240g
 - トマト… 60g
 - 玉ねぎ… 30g
 - レタス… 30g
 - ごま油… 10g
- 栄養価(1人分)
- エネルギー… 339kcal
 - たんぱく質… 9.5g
 - 脂質… 10.0g
 - 炭水化物… 51.1g
 - 塩分… 0.5g

- 材料を切る
・トマト、玉ねぎは、薄くスライスする。
・さんまのかば焼きは、切れ目を入れ、食べやすい大きさに切る。
・レタスは、少し大きめに切る。
- ご飯を成形する
・約60g程度とり、おにぎりを作る要領で丸めて、平らにする。
- 焼く
・フライパンを熱してごま油を入れ、ご飯を焼いていく。
・表面に焼き色を付け、少し固めに焼く(1人分2枚)。
- はさむ
・焼いたご飯の上に材料をのせ、はさむ。

速報1 聖徳大学 児童学部 児童学科 & 聖徳大学短期大学部 保育科
幼稚園教員・保育士の採用数
平成24年3月卒業生実績
幼稚園教員就職者数… 186名
保育士就職者数… 224名
6年連続 全国1位 (難関) 公立保育士合格者数… 52名 (難関) 公立幼稚園教員合格者数… 5名
(2008~2013年版週刊朝日進学MOOK「大学ランキング」より)

聖徳大学 児童学部 児童学科
公立小学校教員採用試験 平成24年度合格者 93名 (平成24年3月現在) (通学課程のみ、既卒者含む)

速報2 2013年4月、聖徳大学に文学とコミュニケーションスキルを融合させた新しい「文学部*」が誕生

現在の人文学部にある4学科4コースの学びを統合し、独立した学問分野・体系を念頭に置いた新しい学びの仕組みを整え、2013年4月に「文学部 文学科*」を設置します。文学科に設けられる6コースで、豊かな教養と併せ、実社会で強く求められるコミュニケーションスキルと柔軟な応用力を備えた人材を育成します。

現在の人文学部	2013年4月より
<p>人文学部</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯教育文化学科 女性キャリア学科 英米文化学科 日本文化学科 日本語・日本文学コース 歴史文化コース 書道文化コース 図書館情報コース 	<p>文学部*</p> <ul style="list-style-type: none"> 文学科* ※2013年4月改組構想中 英語・日本文学コース* 日本語・日本文学コース* 歴史文化コース* 書道文化コース* 図書館情報コース* キャリアコミュニケーションコース* <p>(一部内容は、児童学部 児童学科 児童文化コースへ)</p>

速報3 2014年4月、聖徳大学に看護学部 看護学科(仮称)の設置を構想中
建学の理念「和の精神」をもとに、人間性豊かな看護師の育成を目指して、2014年4月に看護学部 看護学科(仮称)の設置を構想しています。



研究室から

第9回 大庭邦彦

聖徳大学松戸キャンパスから歩いて十分ほどのところに「戸定邸」があります。戸定邸は、水戸藩最後の藩主であった徳川昭武の隠居所として一八八四(明治十七)年に建てられました。国の重要文化財に指定されていることをご存じの方も多いでしょう。

◆昭武は当時華族の間ではやっていた写真に興味にしており、ここを拠点に古ヶ崎・金杉・小金・千駄堀・日暮などといった周辺の村々にしばしば撮影に出かけています。兄でもある最後の將軍慶喜も同邸を訪れ、一緒に撮影に出かけることもありました。

◆作品は隣接する歴史館に所蔵されていますが、その多くは、農作業にいそしむ地元の人々の姿を撮影したものです。虚飾を排して彼らの素の表情をたんとと写し撮った作品からは、逆にカメラの向こうからファインダーをのぞく昭武の人となりをも彷彿とさせてくれます。さらにこれらの作品群は、明治中期



戸定邸

の農村の様子をリアルに残してくれているという意味で歴史資料としても貴重です。

◆歴史館では住宅地に変わってしまった当地松戸の百二十年前の暮らしが、昭武の写真を通して追体験できます。季節やよし！戸定邸のある「戸定が丘歴史公園」はツツジやアジサイをはじめ、種々の花々がいまを盛りと競っているはず、一度足を運んでみてはいかがでしょうか。

(人文学部日本文化学科教授/専門分野は日本近代政治史)

児童学研究所ホームページ

聖徳大学児童学研究所

<http://www.seitoku.ac.jp/kenkyujo/jidou/>



本研究所が主催する講演会や研究発表会の情報を掲載！ぜひご覧ください。

研究所リレー連載

所長の伝言板 第13回 聖徳大学児童学研究所

子どもの教育シンポジウム



所長 松浦 信夫

平成七年四月、教育改革の機運が沸々としていた中で、未来を展望してこれからの時代に生きる子どもたちのさまざまな問題に光をあてるべく、聖徳大学児童学研究所が誕生しました。

「子どもを知る」をテーマとして、さまざまな活動を行っています。医学・心理の視点から子どもの成長発達をテーマにした「子どもの発達シンポジウム」と、教育学の視点から子どもの教育をテーマにした「子どもの教育シンポジウム」に、特に力を入れています。

昨年度の「子どもの教育シンポジウム」は、「若手」を活かす「学校力」をテーマとして、大学を卒業して現場へ出たばかりの新任教諭が抱える課題を解決するための一助になればという思いで開催いたしました。

新任教諭の中には、子どもたちの前に立つても、なかなか思いを伝えることができなかったり、うまくまとめることができない悩



昨年度の子どもの教育シンポジウムの様子

む人が多く、シンポジウムでは、授業で何を伝えるかを明確にすることや他の先生の授業を見ることで問題を解決した事例などが発表されました。

今年度は、七月二十八日(土)に開催し、「幼・保・小連携の視点」について取り上げたいと考えております。プログラムの詳細は、児童学研究所ホームページに掲載します。ぜひご参加ください。

楽習フェスタ2012~第14回 聖徳大学生涯学習フォーラム~

日時: 6月9日(土)13:30~16:15 / 6月10日(日)10:00~16:00

URL <http://www.tunagari.jp/>

「地域で子どもを育てよう」をテーマに、1日目は青少年教育の専門家を交えた鼎談と2つの分科会、2日目は地域の企業・団体にご協力いただいて小学生を対象にお仕事体験ワークショップ「聖徳おしごとデパート」を開催します。あわせてかえっこバザール、Kids英語ひろばを実施します。皆さま、ぜひご参加ください。

場所: 聖徳大学生涯学習社会貢献センター(10号館)【松戸駅東口徒歩1分】
【お問い合わせ】 聖徳大学生涯学習研究所 Tel.047-365-5691(直通)



昨年の様子

参加費: 無料

読売新聞社主催 「第八十二回新人演奏会」に

本学から四名出演



左より藤川さん、横尾さん、松本さん、松丸さん

五月三日(木・祝)、読売新聞社主催第八十二回新人演奏会が、上野の東京文化会館大ホールで開催されました。この演奏会は、一九三〇年から始まり、今年で八十二回を数える国内で最も古くからの伝統と実績を誇る「新人演奏会」です。

全国の音楽大学、音楽系短期大学の中から今回は

三十六校が参加し、各大学から平成二十三年度にトップクラスで卒業した学生が出演しました。本学からは、音楽学部演奏学科卒業生を代表してソプラノ独唱の松本直子さん、ピアノ伴奏の松丸樹さん、ホルン独奏の横尾映美さん、ピアノ伴奏の藤川慶子さんの四名が出演しました。

演奏曲目は松本さんが、プッチーニ作曲の歌劇「蝶々夫人」より「ある晴れた日に」を松丸さんのピアノ伴奏で華麗に歌い上げました。そして、横尾さんが、グラズノフ作曲の「夢想作品二十四番」を藤川さんのピアノ伴奏で会場全体に響き渡るホルン演奏を行いました。フレッシュな演奏家のこれからの成長と活躍が期待されます。

平成二十四年度 留学生オリエンテーション 新入留学生在先輩と交流

四月十一日(水)、留学生オリエンテーションとして新入留学生歓迎会が、大学一号館にある学生ホール「リュミエール」にて開催されました。今年度の新入留学生は、大学院七名、学部



自己紹介をする新入留学生

(編入)二名、短大二名の計十一名でした。大勢の先輩留学生、日本人学生、教職員が激励するために集まぎやかな会となりました。

始めに新入留学生全員がとも緊張した様子で一人ずつ自己紹介をし、その後には焼きたてのピザや飲み物を囲み、大学生活や出身地の話に花を咲かせ、楽しい時間を過ごしました。新入留学生からは「自分にはこんなに頼れる人がたくさんいてうれしい。」との声もあり、不安や疑問を相談する場となりました。

最後に、先輩留学生代表

として人間栄養学部三年・廖 淳如さんより、歓迎の言葉が述べられました。廖さんは、「新入生の皆さんに会いたい気持ちでいっぱいでした。ようこそ聖徳ファミリー！」と、元気に挨拶をしました。昨年の東日本大震災を乗り越え、強い意思で日本留学を決めた彼女たちの大学生活が、実りあるものとなるよう、先輩学生、教職員が支えていきます。



リュミエールのピザ ※普段はさまざまな焼きたてのパンを提供しています!



部員たち(上段中央は部長の百瀬定雄教職研究科准教授、上段右端が筆者)

大学1号館の“水槽”を泳ぐ「鯉のぼり」

今年5月、大学1号館にある川並弘昭記念図書館内の「子ども図書館」では、端午の節句にちなみ、「五月飾り」として五月人形や日本各地の郷土玩具などを展示しました。その一環として、建物の窓一面には鯉のぼりも飾られました。



二日目は、箱根彫刻の森美術館を見学しました。本学園に縁のある流政之氏、多田美波氏などの芸術作品も展示されています。この二日間の交流は、人としてのコミュニケーションのあり方を今一度見直し、建学の精神である「和」を理解するためのよい機会になっています。

読者の皆さま

春風そよ吹く遅日、周回練習の途上で藤の花を見かけました。そこはかたない風情を感じましたものですからしばらく足を止め、愛でていたのです。

坂の上 導(しるべ)となりし 藤の花

まるで選手たちの道標となっているかのようでした。藤はマメ科の一種です。秋にその実は音をたてて、さやから弾け飛ぶのだそうです。

そんな藤の花言葉のような大いに「歓迎」すべき6選手が、この春入部してきました。

彼女たちも秋には藤つるのような強さを備え、関東大学女子駅伝(9/30)では、その実(身)を大いに弾けさせてほしいと思う今日このごろです。「がんばれ!」の一言が何よりも励みになります。皆さまの熱い声援をいただければ幸いです。

走走 五月吉日
陸上競技部
監督 佐藤信春

昨年四月に創設された聖徳大学陸上競技部。日夜走り続ける彼女たちの風を感じてもらうために、今号より四回にわたり、陸上競技部監督からの便りをお届けいたします。



新入生歓迎フレンドシップツアー(FIT)が、五月七日(月)・八日(火)の二日間にスタートして、全七班編成で行われました。この研修の目的は、箱根の自然の中で一泊二日の集団行動をすることにより、新入生



彫刻の森にて

と在生、教員と学生の結びつきを強め、大学生活や卒業後の社会生活を送るための基礎をつくることにあります。

平成二十四年度
「新入生歓迎フレンドシップツアー(FIT)」を終えて

保護者の授業見学のご案内 —すべての授業を見学できます—

〈前期(1学期)〉

〈後期(2学期)〉

平成24年5月7日(月)～平成24年7月20日(金) 平成24年9月10日(月)～平成25年1月18日(金)

見学時間: 1時限目～7時限目 全授業

※土曜日は、実習オリエンテーションおよび補講などを実施いたします。不定期になりますので、お問い合わせの上、お申込みください。 ※ご質問・お問い合わせは、本校学生サポートセンターまでお気軽にご連絡ください。

Tel:03-5476-8811 Fax:03-3476-8820 E-mail: senmon@seitoku.ac.jp

ループミーティングは、一・二部生混合で上級生の司会進行のもと、子どもころに遊んだ「フルーツバスケット」を楽しんだり、授業で学んだ手遊び歌や手作りの人形劇を演じたりと、保育者を目指す学生らしい内容が目立ちました。各グループで上級生が考案した内容は、「指導案」のように詳細にまとめられ、これまで学んできたことが随所に生かされていました。また、どのグループでもピアノ連弾がありました。連弾を行った学生の中には入学当時はピアノ初心者の上級生も多く、新入生からは「一年間でこんなに弾けるようになるんだ!」と、これからのピアノレッスンに期待する声が多く聞かれました。

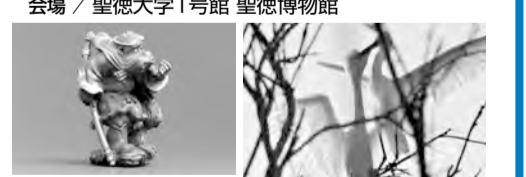
「簡単で低カロリー、お腹が満たされる」を学びながらのランチタイムを挟んで、午後からは一部生、二部生に分かれ「学生生活Q&A」が行われました。学校の様子や授業の内容はもちろん、二部生では、「保育者になりたい」という夢を再確認しました。

特別展覧会

「レンズを通して見る世界の野鳥たち」展

会期 / 6月15日(金)～7月31日(火) **入場無料**
※初日の6月15日(金)は、午後1時よりの公開です。

会場 / 聖徳大学1号館 聖徳博物館



根付 孫悟空分身の術 (東声方作) コサギ(フランス)

高円宮妃久子殿下がこれまで世界各地で撮影された、大自然の中で生き生きと羽ばたいている野鳥たちの姿を紹介します。また、高円宮殿下が妃殿下とともに蒐集された「根付(ねつけ)」を特別出品として展示します。

特別展覧会/聖徳大学心理・福祉学部開設記念

「ピーターラビットとその仲間たち」展

会期 / 好評開催中～8月11日(土) **入場無料**

会場 / 聖徳大学8号館 ギャラリー



「ピーターラビットのおはなし」(1902(明治35年)年 植根)


本学所蔵のコレクションの中から、ビアトリクス・ポターが描いた愛らしい動物たちで人気の高いピーターラビットとその仲間たちに関連した初版本やグッズなどを公開中です。

特別展覧会

「利根山光人コレクション」展

会期 / 好評開催中～10月31日(水) **入場無料**

会場 / 聖徳大学8号館 利根山光人記念ギャラリー



「天馳せる」リトグラフ(1988年)

本学園の2012年版カレンダーに使用されたドン・キホーテシリーズの作品を中心に展示しています。

附属女子中学校・高等学校

附属女子中学校

第三十回入学式

八十四の笑顔の花が咲く

新生が入学するのを待っていたかのように桜の花が満開の中、四月九日(月)、川並知子名誉学園長、川並弘純学園長、川並芳純校長、ご来賓、保護者の皆さまが温かく見守る中、平成二十四年度第三十回入学式が挙行されました。

少し大きめの新しい制服に身を包み、大きな期待と少しの不安の中この日を迎えた中学校新入生八十四名が、入学を許可されました。多くの先生方から温かいお祝いの言葉をいただき、生徒たちにとって今後の中学校生活への心強い励ましになっていました。また、生徒宣誓は、厳

かな雰囲気の中にも堂々と中学生らしい宣誓を述べることができました。入学式終了後、保護者の皆さまには小笠原流礼法宗家・小笠原敬承斎先生のお話を聞いていただき、続けて、後援会入会式を行いました。どの顔にもこれからの学校生活に対する期待が満ちあふれていました。お祝い会食の後、親子LHR、親子記念撮影等が行われました。そして、部活動の勧誘デモンストレーションが行われていて、中には皆明るい笑顔で帰宅しました。本校生徒の一員として自覚を持つことができた一日となりました。



満開の桜をバックにクラスごと記念写真を撮影

学習オリエンテーションを終えて

入学式を終えて約一週間が過ぎた四月十八日(水)から附属女子高校一年生が、翌十九日(木)からは附属女子中学一年生が、「学習オリエンテーション」に参加しました。毎日の生活の場から離れ、成田にある「ホテル日航成田」での二泊三日の生活は、新しい学校生活が始まってすぐの生徒たちには、より一層の緊張感を与えました。

今回の学習オリエンテーションの目的は、「学習に取り組む姿勢を身に付け、積極的に知識を習得し、学習習慣の定着を図る」「聖徳生として有意義な中学・高校生活を送るための基礎作りを行う」「クラス・学年の友人と親睦を深めると同時に、集団生活で大切な約束を自然にできるように身に付ける」の三つです。

一コマ三時間連続で行われた学習の時間、卒業生からのメッセージの時間、進路希望を現実のものにするための進路指導教諭からのアドバイスの時間など、日ごろの学校生活では味わえないプログラムが盛りだくさんでした。

緊張しながらも楽しみながら目的を達成することができました。この学習オリエンテーションでの成果をこれからの中学校・高校生活の三年間に生かして、立派な「聖徳レディー」に成長していきます。



取手聖徳女子中学校・高等学校

かすがの森での聖徳の学び

「Seitoku Freshmen's Camp」実施

桜の花がようやくよくほころび始めた四月八日(日)、取手聖徳女子中学校・高等学校の新入生百六十七名を対象とした「SFC(Seitoku Freshmen's Camp)」が、長野県佐久市にある学園の施設「かすがの森」で行われました。恒例となったこの合宿は「真の聖徳生になる」ために、学習方法について学び、クラスメイトや学年教員との親睦を図り、その後の学校生活の基盤作りをすることが目的です。

初日は開校式に続き、長野雅弘校長による講話があり、「長野式復習法」や「学校生活を楽しむする方法」が伝授されました。その後は国語・数学・英語の各担当者から、授業の心構えやノートの取り方、予習・復習の方法など、「取手聖徳流学習方法」を学びました。二日目は学習だけでなく、「夢をもとう」「よりよい人間関係を築くために」をテーマとした講義の時間も設けられ、いずれの時間も生徒たちの真剣なま

なざしでメモを取る姿が印象的でした。緊張の中、スタートした合宿でしたが、三日目には生徒たちに自信に満ちた

表情や元氣な挨拶が見られるようになりました。この合宿の成果を明日からの学校生活に発揮していきます。



きれいな姿勢で長野校長の講話を聞く生徒たち

スクールバス・リニューアル！ 10路線全てがスクールバスに



スクールカラーである緑のラインを配し、ロゴと学校名がデザインよく刻まれた車体

四月一日(日)より、茨城県、千葉県の一市町村と九駅(JR常磐線「取手」「藤代」、つくばエクスプレスの「守谷」「みらい平」「みどり」)、関東鉄道常総線「水海道」、東武野田線「梅郷」、JR成田線「湖北」「成田」から取手聖徳までを結ぶ10路線(取手線、藤代線、つくば東線、つくば西線、八千代線、境線、野田線、成田線、新利根線、阿見線)のスクールバスが、(株)十和観光に委託されました。また、定期券往復(片道)の他、一時乗車のための回数券も利用できるようになります。これにより、利便性が高くなり、より快適で安全な登下校が実現しました。

取手聖徳女子中高同窓会 「聖朋会」活動のお知らせ
9月22日(土・祝) 聖朋会総会・懇親会 聖徳祭
10月14日(日) サークル活動 「スポーツレク」「パーベキュー」
平成25年 3月1日(金) 聖朋会入会式

附属小学校

第二十七回入学式 代表児童が堂々と宣誓



校長先生の前に誓いの言葉を述べる児童たち

四月十日(火)、やわらかな日差しと優しい風の中、

満開の桜に囲まれた附属小学校で、平成二十四年度の第二十七回入学式が挙

行されました。緊張しつつも、たくさんの方の期待を胸に秘めた新一年生五十五名を迎えました。

式の最後には、学園長先生から「爽やかな式でした」とお褒めの言葉がありました。吹奏楽の上級生の態度も立派でした。また、保護者の皆さまが温かく見守ってくださり、暖かい春を感じた入学式になりました。

一年生を迎える集会、 「明和班」顔合わせ集会開催

四月十六日(月)、体育館に全校児童が集まり、「一年生を迎える集会」が行われました。一年生から六年生までのお兄さん、お姉さんから一年生に合奏のプレゼントがあると聞き、一年生はこの日を楽しみにしていました。

当日は、「びつくりシンフォニー」という曲の合奏がありました。その名の通り、太鼓やシンバル、ティンパニ、管楽器、ハーモニカ、カスタネットなどたくさんのお兄さんが登場し、一年生は飛び跳ねて喜んでいました。

一年生は、お札に秘密で練習してきた「あしたて

うがなばります」と、聖徳の子として「がんばるぞ」という気持ちで伝わってきました。



今年は1年生を驚かせようと大きな音の出る楽器を増やしました

附属小同窓会 秋和会

「秋和会準備委員会」発足!

同窓会幹事 附属小教諭 渡辺 五大 (第一回卒業生)

小学校同窓会「秋和会」は、第一回卒業生の鳴崎亨大さんに今年度も引き続き会長に就任していただくことになりました。

さらに今年度は、第二回卒業生・大森亜希さん(旧姓・渡邊)、第五回卒業生・青木千佳さん(旧姓・秋元)、第六回卒業生・広瀬知里さんを迎え、準備委員会を発足させました。

この役員を中心に各年度の同窓会活動を促進していきたくと考えております。

附属小のホームページをチェック!

聖徳大学附属小学校

検索



最新のトピックスを常に掲載しております。ぜひご覧ください。

「秋和会」の活動報告はこちらのリンクよりご覧いただけます。

<http://www.seitoku.jp/shogaku/shuwakai>

幼稚園短信

聖徳学園三田幼稚園

春の遠足 (府中郷土の森・新宿御苑)

園生活に慣れてきた五月に「春の遠足」を実施します。年長児は、お友達と一緒にバスに乗って



府中郷土の森にて

昔の民家やいろいろを見学して、「わらでできた屋根だね」「昔の人はここで温まっていたんだ」「この敷居は踏んだらいけないのよ」と言いながら、昔の建物の特徴やよさを覚えます。

遠足の昼のお母様手作りのお弁当は、園児の楽しみの一つです。クラスで一緒に食べるのもうれしいようで、「この唐揚げおいしいよ」「鮭のおにぎりだよ」「僕はサンドウィッチ」「このトマト甘いんだよ」と会話も弾み、クラスのコミュニケーションをとるよい時間になります。

「防災訓練」で身の守り方を学んでいます

幼稚園では、地震や火災時の避難や身の守り方を身に付けられるように、年六回の防災訓練を計画・実施しています。

初めての訓練では、非常用サイレンの音に驚いて涙を流し、防災帽子がかぶれずに慌ててしまう年少児の姿も見られますが、訓練を重ねていくうちに一人ひとりがおぼれるようになり、進んで机の下に避難し、ハンカチで口を押さえ、「おさない・かけない・しゃべらない・もどらない・ちかづかない」の「おかしもち」の約束の意味を

しっかりと理解して参加できるようにします。また、消防署の方に来園していただき、話を聞いた後、大きな消防車を見たり、消防服を着せてもらったりして、とても興味を持って学んでいます。地震車での実際の揺れを体験したりして、どのように身を守ったらよいかを園児自身で感じとり、発煙筒で実際の煙の流れを見て、煙の恐ろしさや煙を吸わないように避難することも学びます。



真剣な表情で訓練に臨む園児たち

さらに、災害時の交通まひを想定して、保護者の方

聖徳学園多摩中央幼稚園
みんなで遊びましょう
「親子親睦会」

幼稚園では年に三回の保育参観の他に、入園・進級して新しい生活に慣れてきたころに「親子親睦会」を行っています(今年は四月十七日(火)に実施しました)。

園児たちは保護者の方と幼稚園で遊べるこの日をとても楽しみにしていて、親睦会の日が近づくと「今日はお母さん来る日?」と毎日確認し、心待ちにしています。

この親睦会は保護者の方と遊ぶことだけでなく、クラスの親睦を図ることを目的としているので、どのクラスもまずはゲーム形式で自己紹介をしました。この自己紹介で園児はもちろん、保護者の方も今まで話したことのない方と話すこ



親子が一緒になって友達のを広げました

したりして楽しく過ごしました。初めは緊張が見られたクラスも、会が終わるころにはすっかり和みました。新入園児にとっては初めての園生活、進級園児にとっても新しいクラスでの生活で、子どもの様子を心配している保護者の方も多い時期ですが、幼稚園の一日の生活の流れや友達とかわって過ごしている様子を見ていただくことができ、不安を取り除くことができました。

とができ、親子共に新しい友達作りのきっかけになったようです。その後、動物や園児の好きなキャラクターのペンダントをかけてゲームをしたり、じゃんけんのゲームを

配している保護者の方も多い時期ですが、幼稚園の一日の生活の流れや友達とかわって過ごしている様子を見ていただくことができ、不安を取り除くことができました。

聖徳大学附属幼稚園
「チーバくん
ふるさと・ことばかるた」
読み札に採用

昨年六月から七月にかけて、千葉県教育委員会が、日本語の理解を深める教育の取り組みとして「チーバくんふるさと・ことばかるた」の読み札の公募を実施しました。



千葉県内の書店にて販売中

応募規定には、読み札に家族や友達、動植物を慈しむ心、ルールやマナーを守る心、ふるさと意識などの道徳的要素や、日本語特有のリズムや響きを盛り込むこととありました。

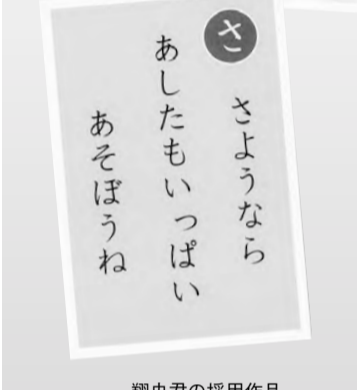
附属幼稚園の園児・保護者も多数作品を応募しました。読み札選定委員会で、八千九十の応募作品の中から四十四作品の

読み札が昨年八月二日(火)に決定し、本園の三歳児(当時)の大山翔央君の作品「さようなら あしたもいっぱいあそぼうね」が選ばれました。

幼稚園でも、かるた遊びを通して、文字や言葉覚えとともに、自分たちの住む千葉県を知り、美しい日本語の響きを楽しめるよう



(キ)



翔央君の採用作品

る園児もいましたが、「この野菜を食べると大きくなるよ」と励ましの言葉をかけると、チャレンジするがなばりも見られます。家庭での食生活も大きく変わり、アレルギー対応も含め、園児たちが心身共に健康に育つよう偏食をなくし、友達と一緒に食べる楽しさや喜びを味わいながら、食事のマナーや正しい箸の持ち方が身に付くよう、援助して

聖徳大学附属第二幼稚園
給食が
始まりました!!

三歳児は、入園してもうすぐ一ヶ月が経とうとしています。少しずつ幼稚園生活にも慣れ、泣いていた幼児も笑顔に変わり、園庭遊具やままごとコーナーやブロッコリーなど好きな遊びを見つけ、友達と一緒に積極的に遊ぶ姿が増えてきました。

四月二十六日(木)から本格的な給食が始まりましたが、家庭とは違った環境で食べることに少しずつ慣れるよう「ならし給食」からスタートしています。クラッカーサンド、ゼリーをいただきました。



大きく口をあけてほお張りながら食事をする園児たち

本給食の初日は、園児たちが大好きなカレーライスでした。「ああ、いいにおい」「ぼく、いっぱい食べられるよ!」と食べる気満々の声。ほとんどの園児が完食できました。中には、野菜が苦手な手をつけずにい

聖徳大学附属浦安幼稚園
「にこにこルーム」
二歳児パンダ組

今年四月、身体や心の発達が大変な時期に豊かな体験をさせ、一人ひとりの幼児の個性やよい面を認め、健やかな成長を支援する目的で、「二歳児対象の「にこにこルームパンダ組」を開会しました。

家庭生活では味わえないたくさんのお友達との遊びを通して、優しい気持ち、我慢する心やきまりを知り、守る心を育て、さらに、「あいさつ」「衣服の着脱」「排泄」「食事」などの基本的な生活習慣を、幼稚園生活で楽しく身に付けていくことがねらいです。



今日の絵本はなにか

「春の自然に親しみ、友達や先生、家の方と楽しく過ごす」という狙いのもと、成田山公園への遠足が実施されました。前日までの天気予報では雨が心配されましたが、どうにか天気もち、予定通り遠足に行くことができました。

多々見かけました。家庭の様子も垣間見え、我が子を励ましたり、なだめたりしながら手をつなぎ、一緒に最後まで歩く親子、すぐに抱き上げてしまう保護者の方などさまざまでした。公園は坂や階段も多く、

「からスモックに着替える一連の流れも分かり始め、自分でできることはやろうとする姿が見られます。トイレットトレーニングの成果も徐々に表れ、「先生!できたよ」と得意気に報告してくる園児もいます。まだ友達と遊ぶより一人で遊ぶことが多いのですが、保

聖徳大学附属成田幼稚園
成田山公園への遠足

今年度がスタートし、園児たちが幼稚園生活や新しいクラスにも少しずつ慣れてきた四月二十一日(土)に、



池で鯉を探す園児たち

成田山の大本堂前に集合し、クラスごとに記念写真を撮り、公園内の散策に出発しました。学年ごとに歩くコースや距離が違いますが、今年には特に年少児の園児たちがなかなか歩かず、保護者に「抱っこ」をせがんでいる姿を

少し寒くはありましたが、新しい友達や先生、家の方と楽しいひとときを過ごすことができました。

子どもの未来を応援します

第45回 SEITOKU 夏期保育大学 7月21日(土)開催

「保育の聖徳®」の夏の伝統行事、「SEITOKU夏期保育大学」は、おかげさまで、多くの方々のご支援、ご参加により、今年で45回目を迎えることとなりました。今年、「子どもを伸ばす」を総合テーマに掲げ、将来を担う子どもたちが、心豊かに楽しく、健やかに育っていくことを願い、子ども中心の保育の原理と保育者の関わり方の大切さをお話しします。

全体会では、お茶の水女子大学客員教授・名誉教授の内田伸子先生をお招きし、ご講演をいただきます。午後の分科会では、保育や幼児教育などさまざまな場面で役に立つ、14テーマの分科会をご用意いたしました。講師との学びを通し、また、同じ現場で働く先生方、子育てに関心のある方々との交流を通し、楽しく充実したひとときをお過ごしいただければと思います。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。



- 日時:平成24年7月21日(土)10時~16時
- 会場:聖徳大学松戸キャンパス(松戸駅東口徒歩5分)
- 総合テーマ:“子どもを伸ばす”
- 全体会:
講演/「子どもの創造的想像力を育む保育者の役割
—子どもを伸ばすことばかけ—」
講師/内田伸子先生(お茶の水女子大学客員教授・名誉教授)



内田伸子先生

- 分科会:
① 幼児理解を深める
② 0・1・2歳児の保育の環境を見直そう
③ 小学校のスタートプログラムと接続期の保育
④ 子どもに届く、しかり方・伝え方
⑤ 困難な子どもの発達支援 — 国語・算数につながる力 —
⑥ 行動や情緒に困難のある幼児の理解と支援 — 明日からの保育に役立つヒントやアイデアを考える —
⑦ 保護者とのコミュニケーション力を磨こう!
⑧ 子どもの育ちを支える家庭との連携の在り方
⑨ 幼児の絵や活動を見る技術 — 当事者の視点にたった分析と指導の工夫 —
⑩ 「絵本と紙芝居を楽しむ」
⑪ ピアノで表現!
⑫ 運動会や行事に適した集団遊び、親子あそび
⑬ わかりやすい子どもの保健 — 成長、発達、感染、アレルギー、放射線 —
⑭ 乳幼児期の食育・企画プロデュース

●受講料: 一般:5,000円 卒業生:4,000円 在学生:2,500円

【お申込み・お問い合わせ】 聖徳大学生涯学習課 Tel.047-365-3601(直通)

学校説明会関係行事のご案内

●聖徳大学(女子)・聖徳大学短期大学部(女子) ●お問い合わせ: 0120-66-5531

オープンキャンパス ▶ 6月17日[日] ▶ 7月15日[日] ▶ 8月5日[日] 聖徳大学 松戸キャンパス
★学食無料体験あり 10:30~16:00 10:30~16:00 10:30~17:00

出張オープンキャンパス ※全て12:30~15:00
▶ 6月10日[日] 札幌:札幌グランドホテル ▶ 7月22日[日] 新潟:ホテルオークラ新潟
▶ 6月30日[土] 山形:ヤマコー小ホール ▶ 7月28日[土] 青森:アスパム
▶ 7月1日[日] 盛岡:マリオス ▶ 7月29日[日] 秋田:アトリオン
▶ 7月21日[土] 静岡:パルシェ ▶ 8月1日[水] 郡山:ホテルプリシード郡山
▶ 8月2日[木] 仙台:アエル

●通信教育部(大学院・大学・短期大学部 共学) ●お問い合わせ: 047-365-1200

入学説明会 ※全て12:30~15:00
▶ 6月10日[日] 札幌:札幌グランドホテル ▶ 7月22日[日] 新潟:ホテルオークラ新潟
▶ 6月30日[土] 山形:ヤマコー小ホール ▶ 7月28日[土] 青森:アスパム
▶ 7月1日[日] 聖徳大学松戸キャンパス ▶ 7月29日[日] 聖徳大学松戸キャンパス
▶ 7月1日[日] 盛岡:マリオス ▶ 7月29日[日] 秋田:アトリオン
▶ 7月21日[土] 静岡:パルシェ ▶ 8月1日[水] 郡山:ホテルプリシード郡山
▶ 8月2日[木] 仙台:アエル

●聖徳大学幼児教育専門学校(女子) ●お問い合わせ: 03-5476-8811

夏のオープンキャンパス ▶ 6月16日[土] ▶ 7月28日[土] ▶ 8月9日[木] 夜のオープンキャンパス ▶ 6月26日[火]
13:00~15:00 10:00~12:00 13:00~15:00 17:30~19:30

進学相談会 ▶ 6月6日[水] 15:00~18:00 平塚:ラスカホール ▶ 6月15日[金] 15:30~18:00 横浜:新都市ビル

●聖徳大学附属女子中学校・高等学校 ●お問い合わせ: 047-392-8111

オープンスクール ▶ 7月16日[月・祝] 10:00~ ▶ 8月18日[土] 10:00~

学校説明会 ※全て10:00~ 中学校 ▶ 6月30日[土] 高等学校 普通科 ▶ 9月15日[土] 音楽科 ▶ 6月9日[土]

●聖徳大学附属取手聖徳女子中学校・高等学校 ●お問い合わせ: 0297-83-8111

オープンスクール ※全て10:00~ 中学校 ▶ 7月22日[日] ▶ 8月5日[日] 高等学校 ▶ 8月4日[土] ▶ 8月19日[日]

中学校・音楽講習会 ▶ 7月22日[日] ▶ 8月26日[日] 学校見学会 ▶ 6月2日[土] ▶ 6月23日[土]
高等学校 ※全て10:00~ ※全て10:00~

●聖徳大学附属小学校(共学) ●お問い合わせ: 047-392-3111

学校説明会 ▶ 6月17日[日] 9:30~12:30 わくわくオープンスクール ※全て9:30~12:10
★授業見学・会食体験あり ▶ 6月23日[土] ▶ 6月30日[土] ▶ 7月22日[日]

※詳細につきましては、お問い合わせください。

平成24年度 大学・短期大学部/後援会・保護者会 開催日程

6月10日(日) 13:00	北海道支部総会・保護者会	札幌グランドホテル
9月2日(日) 10:30	東北(北)支部総会・保護者会	盛岡・ホテルニューカリーナ
9月16日(日) 10:30	甲信地区支部総会・保護者会	長野・ホテル国際21
9月23日(日) 10:30	東北(南)支部総会・保護者会	郡山・ビューホテルアネックス
10月14日(日) 10:30	新潟地区支部総会・保護者会	新潟・万代シルバーホテル
10月21日(日) 10:30	千葉県支部総会・保護者会	聖徳大学松戸キャンパス
10月28日(日) 10:30	静岡県支部総会・保護者会	静岡・ホテルアソシア静岡
11月11日(日) 10:30	九州・沖縄地区支部総会・保護者会	ホテル日航那覇グランドキャッスル
11月18日(日) 10:30	北関東支部総会・保護者会	大宮・JA共済埼玉ビル
11月25日(日) 10:30	茨城県支部総会・保護者会	土浦・ホテルマロウド筑波
12月2日(日) 10:30	東京地区支部総会・保護者会	聖徳大学松戸キャンパス

大学院・大学・短大同窓会「香和会」第45回 総会・懇親会のお知らせ

香和会の総会並びに懇親会を下記の通り開催いたします。先生や同窓生と語り合う楽しい一日、ぜひご参加ください。ニューオータニの特別料理をご賞味ください。

- 日時: 7月22日(日) 10:30~11:30 新1号館見学スペシャルツアー
- 場所: 聖徳大学 8号館 11:30~ 総会受付開始
アミティエ 12:00~15:00 総会・懇親会および東日本大震災
支援チャリティーミニコンサート Part2
- 懇親会費: 2,000円
ご同伴の中高校生500円(小学生以下無料)

毎年、お子様連れの参加も多く大変好評です。ミニコンサートや抽選会もあります。

【お申込み・お問い合わせ】 香和会事務局 Tel.047-366-5084(直通)

大学・短期大学部・大学院 同窓会「香和会」支部パーティー開催のご案内

10月から12月にかけて、全国7支部で楽しい支部パーティーを開催します。会いたかった級友に再会するための他支部参加も大歓迎です。どうぞお気軽に参加してください。役員一同お待ちしております。

このほか、11月3日(土・祝)の聖徳祭(聖徳大学/松戸市)では、Happyホームカミングを企画しております。

※各支部パーティーの場所等詳細につきましては、郵送にてご案内いたします。

支部名	日程
北海道・東北支部	9月 2日(日)
北陸・上信越支部	10月14日(日)
九州・沖縄支部	11月10日(土)
北関東支部	11月18日(日)
合同開催	
南関東支部 甲州・中部・東海支部	12月 2日(日)
近畿・中国・四国支部	12月15日(土)

【お問い合わせ】 香和会事務局 Tel.047-366-5084(直通)

学園広報誌聖徳フラッシュをお読みいただきありがとうございます。聖徳フラッシュは皆さまの広報誌です。今後も内容の充実に向けてまいりますので、ぜひ皆さまのご意見・ご感想をお寄せください。

読者の声 ご意見・ご感想の宛て先
 <郵送> 〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550 東京聖徳学園 「聖徳フラッシュ」係まで
 <インターネット> <https://www.seitoku.ac.jp/gakuen/toiawase/frmpub>

インターネットを利用して皆さまの聖徳フラッシュに対するアンケートを取らせていただいております。アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で学園オリジナルグッズをプレゼントしております。

<アンケートURL> <http://www.seitoku.jp/gakuen/flash/>

学校法人 **東京聖徳学園**

〒108-0073 東京都港区三田3-4-28
TEL.03-5476-8811(代)

聖徳フラッシュ 第60号
 発行人/川並 弘純 編集/総務課
 PRINTED WITH SOY INK この印刷物は大豆油を主成分とした環境にやさしいインクを使用しています。
 12.6.1 re(18.4)

森と湖のヒーリングリゾート
山中湖ガーデン

信州佐久 春日温泉 自然体感リゾート
かすがの森

ご宿泊券プレゼントクイズ!!

☆2組4名様に宿泊券が当たる☆

夏休みの予定はもうお決まりですか?ご家族、ご友人とのお旅行にはぜひ学園の保養所をご利用ください。今回は、特別に「ご宿泊券プレゼントクイズ」を開催します。皆さま、ふるってご応募ください!!

問題 かすが荘は名称が新しくなりました。新名称は?

応募期間/平成24年6月1日(金)~平成24年6月25日(月)正午

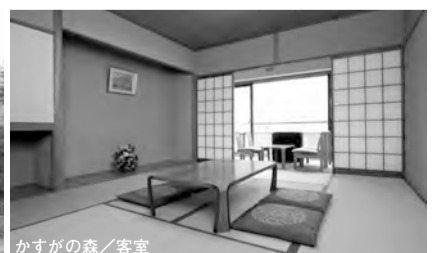
応募方法/ <http://yamanakako-garden.com>

※「ニュース&トピックス」から応募フォームをご利用ください。

ヒント / <http://kasugaso.com> かすがの森(旧称:かすが荘)



山中湖ガーデン/外観



かすがの森/客室

賞品/学園保養所ご宿泊券(一泊二食大人2名様分)2組4名様
 既予約にも充当可。佐久・山中湖どちらかの保養所で利用可。
 利用可能期間、平成24年7月10日~平成24年10月31日。除外日、8月10日~8月15日。
 抽選・当選発表/厳正な抽選の上、賞品の発送をもって発表にかえさせていただきます。
 賞品発送は6月下旬ごろを予定しております。